

安全で安心な水をお届けするために

中田井浄水場をリニューアルします

中田井浄水場とは？



中田井浄水場 (中曽根町 25 番地)

なぜリニューアルが必要なのでしょうか？

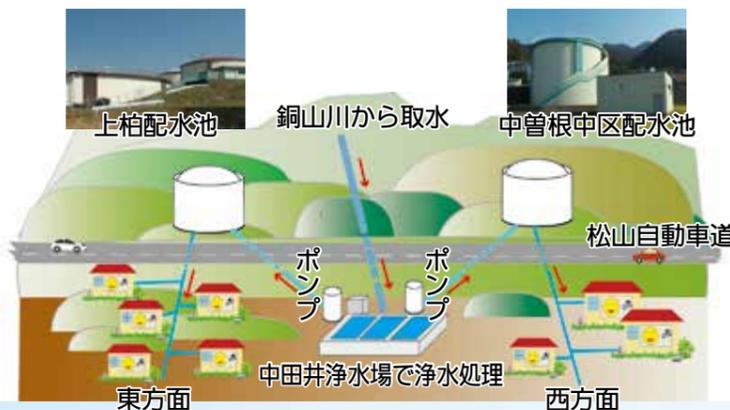
中田井浄水場のリニューアルには、次の3つの理由があります。
 ①中田井浄水場には昭和30、40年代の施設が残っています。この施設は現在の耐震基準を満たしていないため、新しい施設に作り替える必要があります。



昭和47年(43年前)の写真
赤で囲んでいる部分は現在も使用されています

②機械や電気設備のほぼ全てが耐用年数を超えているため故障が多く、古い設備なので修理部品の調達が難しくなっています。

③浄水場で作られた水は、ポンプを使って高いところにある配水池(水のタンク)に一度貯めてからみなさんの家庭に送っています。そのために多額の電気代がかかります。



工事の概要

■工期
 工事は7月から始まります。水を作りながら古い設備を新しくしたり地震に強い建物や施設にするので、期間は4年2か月になります。平成31年9月の完成予定です。

■工事費

工事にかかる費用は約82億円です。金融機構からお金を借りたり、国の補助金を使いますので、水道料金に影響はありません。

■重要防災拠点としての整備

新しい浄水場は重要防災拠点と位置付け、次の点に気をつけて工事を行います。

- 浄水施設全体の耐震化
- 災害や事故に備え、浄水場に水が入ってきたから処理されるまでの行程を2系列化
- 新しく浄水池兼配水池(できた水を貯めるタンク)をつくり、場内に約1万トンの水を確保し、災害時の応急給水に対応

水道局からのお知らせ

出前講座

水道局では「わたしたちの水道」と題して出前講座を実施しています。水道の仕組みを学ぶほか、応急給水体験などもできますので、市内の団体、グループでご希望があればお気軽にお申し込みください。

出前講座に関するお問い合わせ
 水道総務課 28・6452

6月1日〜7日は
 第57回水道週間です

今年「カラカラで 蛇口に飛び込む 僕の口」をスローガンに、全国で多彩な行事が開催されます。水道局では、ふだん何げなく使っている水道への関心と理解を深めてもらうため、「水道週間」期間中の午前10時から午後4時まで、中田井浄水場を一般公開します。現行浄水場の見納めになりますので、お気軽にご来場ください。



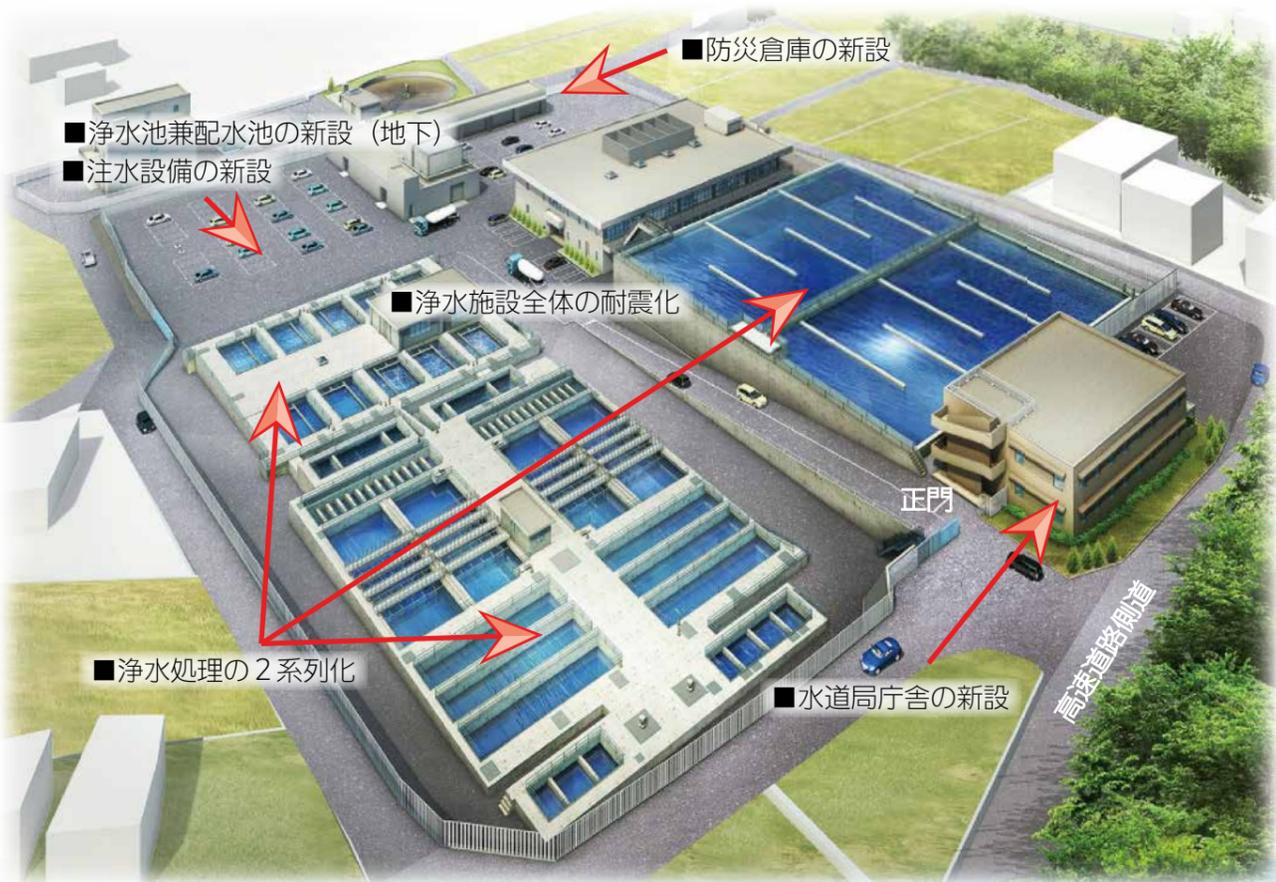
施設見学に関するお問い合わせ
 浄水管理センター 28・6458



■配水区の見直し
 新設される浄水池兼配水池から、鉄道より北のエリアに高低差を利用して水を送ります。これまでポンプを使って山の中腹にある配水池まで送っていた水のうち、約40%がこの自然流下に変わりますので、電気代が減らせます。また、今年度から配水区の見直しに伴う水道管の布設工事が始まり、併せて古い水道管を耐震管に入れ替える工事も行っています。

○災害時に備え、災害用備品や水道管の材料などを備蓄する防災倉庫を新設
 ○地震災害や濁水時の応急給水に備え、給水車への注水設備を設置
 ○水道局庁舎を新設し、現在の村松庁舎から移転。職員、給水車、資機材などを集約

将来的には土居地域にも中田井浄水場から水をお届けする計画になっています。安全で、安心な水、安定した水供給のために、中田井浄水場のリニューアルについて、皆さまのご理解、ご協力をお願いします。



- 浄水池兼配水池の新設 (地下)
- 注水設備の新設
- 防災倉庫の新設
- 浄水施設全体の耐震化
- 浄水処理の2系列化
- 水道局庁舎の新設